

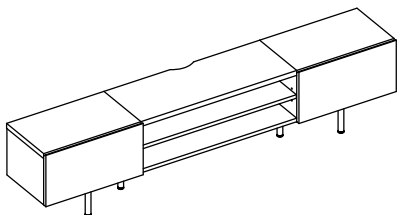
# ワイドテレビボード HT-01 組立・取扱説明書

このたびはお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくため、本書の組立・取扱説明書を必ずお読みください。  
またいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

## まだ組み立てないで!

### ☑ 組立を始める前に確認できたらチェック!

☑	確認事項	☑	確認事項
<input type="checkbox"/>	梱包箱・梱包材は、梱包内容を確認し、部材がすべて揃っているか、傷や破損がないかをご確認のうえ、処分してください。	<input type="checkbox"/>	組立後の移動は破損の原因となりますので、できるだけ設置予定の場所付近での組立をおすすめします。
<input type="checkbox"/>	組立の際の注意事項をよくお読みいただいた上で組立を開始してください。	<input type="checkbox"/>	手や指を保護するため、手袋や軍手を着用して作業してください。
<input type="checkbox"/>	製品や床などを傷つけないよう、敷物などの上での作業をおすすめします。	<input type="checkbox"/>	ネジやボルトは一度に強く締め付けず、すべて仮止めしてから、隙間や歪みが無いか確認の上、増し締めをしてください。



### 【商品仕様】

型番	耐荷重 (等分布、静荷重)	原産国	主な材質
HT-01	天板 50kg、中央棚板 8kg、 中央底板 5kg、左右収納 各 5kg	中国	プリント紙化粧合板、プリント紙化粧繊維板、スチール

### 【お問い合わせ先】

●商品管理には十分留意しておりますが、万一初期不良・商品違いがございましたら、大変お手数ですが**お買い求めの販売店様まで**お問合せください。

※販売店の窓口がご不明な場合は、株式会社もしも (pb-support@moshimo.com) へお問い合わせ願います。

●部材に破損や不具合がございましたら、**ただちに使用を中止して、お問い合わせ先にご連絡ください。一層の破損や周囲へのダメージ、怪我などの原因となりますので、以降の組立や製品の移動は、おやめください。移動する場合は、すべて部材を解体し、十分にご注意のうえ行ってください。**

●製品および梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。

### 【購入された方以外の第三者に貸与や譲渡をする場合】

●必ず本組立・取扱説明書もお渡しし、よくお読みになってからお使いいただけるようご指導ください。

## 使用上の注意

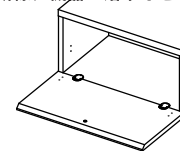
**⚠ 警告** 記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があります。

**⚠ 注意** 記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う、物的損害が発生する可能性があります。

## ⚠ 警告

### ▼設置上のご注意

- 本品を移動する際は、必ず上に載せている物を降ろしてから、2人以上で、かつ本品の下を持ち上げて引きずらないようにし、本体の歪みに注意して移動するようにしてください。部品が外れたり、破損や断線、機器の落下などの恐れがあります。
- 開いたフラップ扉に手をついたり、物を載せたりしないでください。破損する恐れがあります。



### ▼取扱い上のご注意

- 梱包用の袋材は、乳幼児や子供の手の届かないところに置いてください。頭にかぶったりすると窒息の危険があります。
- 組み立ては、小さなお子様が近くにいない場所で行ってください。怪我や小さな部品の誤飲の恐れがあります。
- 本品を踏み台代わりにしたり、上に乗ったり、飛び跳ねたり、本来の使用目的以外に使用しないでください。怪我をしたり破損の原因になることがあります。
- 局部的に過度な力を加えないでください。破損や怪我の原因となります。
- 扉に乗ったり、無理な荷重を加えないでください。転倒・破損・怪我などの原因となります。
- 本品が破損・劣化・変形した場合は使用を中止してください。
- 本品の近くで暖房器具を使わないでください。変形や破損、火災になる恐れがあります。
- 温度や湿度の高いところでは使用しないでください。破損や加熱の原因となることがあります。
- タバコ、ライター、ストーブの火などの火気を本品に近づけないでください。本品に落とすと火災などの原因になります。
- フラップ扉内は熱がこもりやすいため、高熱を発する電気製品などを収納しないでください。異常加熱・火災の恐れがあります。
- 設置の際は、配線コードなどを本品で挟んだりしないでください。火災の原因になります。



## ⚠ 注意

### ▼商品を開梱する際には

- 開封した際に、製造時に使用した塗料や接着剤の臭気が残っている場合があります。化学物質に敏感な方は、まれにアレルギー症状を起こす場合もございますので、開封直後は部屋の換気を十分に行ってください。

### ▼設置上のご注意

- 水平で平らな場所に置いてご利用ください。破損などの原因になります。
- 天板や棚板に不安定なものを置かないようにしてください。怪我や破損の原因となります。
- 組み立てる時に、手、指、足を挟まないように注意してください。ネジ類は最初は緩めに取り付け(仮止め)を行い全体の形を整えた後もう一度強く締め付けて固定してください。
- ボンドを使用する際は、作業を中断しないでください。穴の中でボンドが硬化し、部品が奥まで入らなくなる恐れがあります。
- ボンドが硬化した後は、調整や部材の交換が困難になりますのでご注意ください。
- 扉や稼働する部分の開閉時に手や指などの体の一部をさまないように注意してください。怪我の原因となります。
- 使用しない時は本品の扉は閉めてください。怪我や破損の原因となります。

## ⚠ 注意

- 直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たる場所は避けてください。変形、変色の原因になります。
- 長期間同じ場所で使用されますと、床などの接地面を傷める恐れがあります。敷物などを敷いた上に設置し、床面の保護を行ってください。
- 本品を壁につけて設置すると、壁に傷をつけたり、色が移る可能性があります。必ず少し隙間を開けて設置してください。

### ▼取扱い上のご注意

- 極端に重いものを乗せたり、収納をしないでください。本品の破損の原因となります。
- ボルトやネジはお使いいただくうちに緩むことがあります。3か月に一度程度、締め直してお使いください。
- ボルトやネジの締めすぎにご注意ください。必要以上の力で締めると、破損の原因となります。
- テレビを乗せた状態で本品を傾けたり不安定な状態にしないでください。転倒や破損などの原因となり、怪我をする恐れがあります。
- 水分や液体が付着した場合はすぐに拭き取ってください。また、水分を多く含んだ布などは使用しないでください。表面のシートが剥がれたり、浮いてくる可能性があります。
- 除光液、シンナー、ベンジン、化学ぞうきんなどの有機性溶剤をふくんだ布などは使用しないでください。
- セロハンテープやラベル等を貼らないでください。はがすときに、表面の化粧面がはがれる場合があります。
- 害虫を発見した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫が増殖する恐れがあります。
- 濃色製品は、使用中の強い摩擦により色移りすることがあります。汗などで濡れた状態で使用すると色移りや変色することがありますので、ご注意ください。
- 汚れなどを落とすときは、乾いた布で軽く拭いてください。著しい汚れを落とすときは、薄めた中性洗剤を布などに付け、よく絞ってから拭いた後、十分に乾燥させてください。

### ▼電動ドライバーの使用について

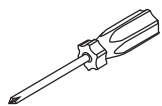
- カムロックを使用する製品を組み立てる際は、カムロックに電動ドライバーを使用しないでください。カムロックが破損する恐れがあります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、最も弱い締め付けトルク(締付力)から試し、適切な締め付けトルクで使用するようになしてください。ネジやネジ部分の破損の恐れがあります。

## 組立を始める前に

- 組立は必ず2人以上で行ってください。
- 梱包内に部材、パーツがすべて揃っているかをご確認ください。
- 組立の際の注意事項をお読みいただいた上で組立を開始してください。
- ネジやボルトは一度に強く締め付けず、すべて仮止めしてから、隙間やゆがみが無いか確認の上、増し締めをしてください。
- 手や指を保護するため、手袋や軍手を着用して作業してください。



### ご用意いただく道具など



プラスドライバー (+)



軍手などの手袋

### 組み立て動画

下記 URL もしくは QR コードから組み立て動画をご覧ください。



URL: [https://youtu.be/ThAC5dA\\_Xec?feature=shared](https://youtu.be/ThAC5dA_Xec?feature=shared)

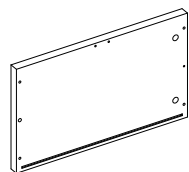
## ※梱包内容をご確認後、次のページをご覧ください。

### パーツ

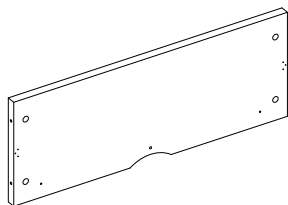
※余ったパーツは予備としてお使いください。

No.	パーツイラスト	名称	数	No.	パーツイラスト	名称	数
A		ジョイントピン (大)	14	K		金具 (L)	2
B		ジョイントピン (小)	4				
C		ジョイントシャフト	4	L		棚ダボ	4
D		カムロック	22	M		揺れ防止具	8
E		木ダボ (短)	21	N		タッピングネジ (細) / (ドロップ丁番、ダウンステー、金具 (L)、揺れ防止具用)	60
F		木ダボ (長)	6	O		タッピングネジ (太) / (脚用)	24
G		半ボルト	3	P		ネジ (フラップ扉用)	2
H		マグネットキャッチ	2	Q		ドライバー (※狭い場所にご使用ください。)	1
I		ドロップ丁番	4	R		ボンド	2
J-1		ダウンステー (左)	2				
J-2		ダウンステー (右)	2				

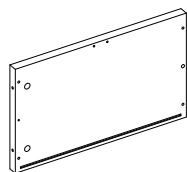
部材



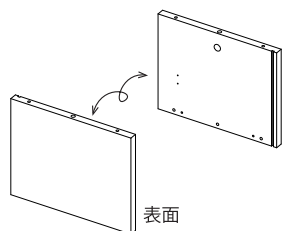
①天板  
(収納/左)  
× 1



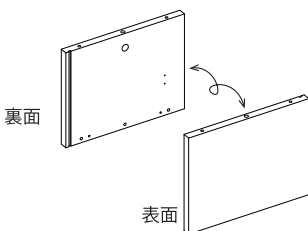
②天板 (中央)  
× 1



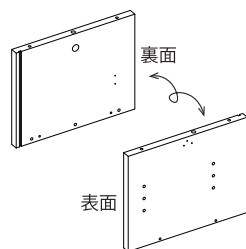
③天板  
(収納/右)  
× 1



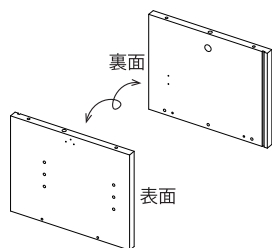
④側板外  
(収納/左)  
× 1



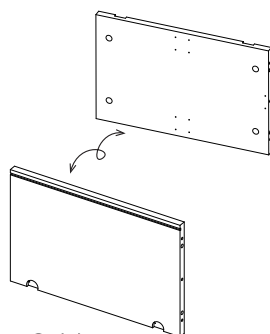
⑤側板外  
(収納/右)  
× 1



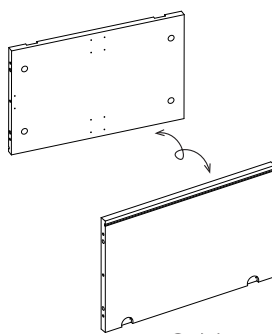
⑥仕切り板  
(収納/左)  
× 1



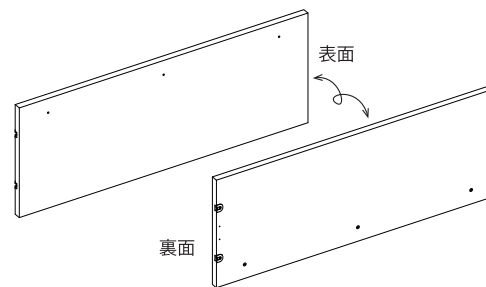
⑦仕切り板  
(収納/右)  
× 1



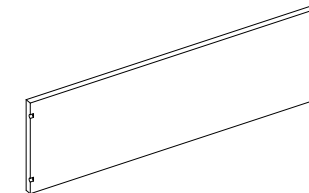
⑧底板  
(収納/左)  
× 1



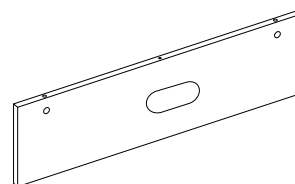
⑨底板  
(収納/右)  
× 1



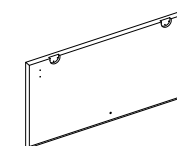
⑩底板 (中央)  
× 1



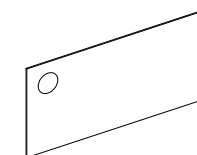
⑪棚板  
× 1



⑫背板 (中央)  
× 1



⑬フラップ扉  
× 2

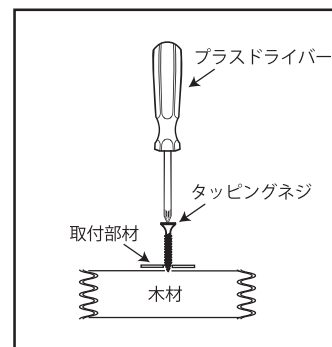


⑭背板  
(収納用)  
× 2

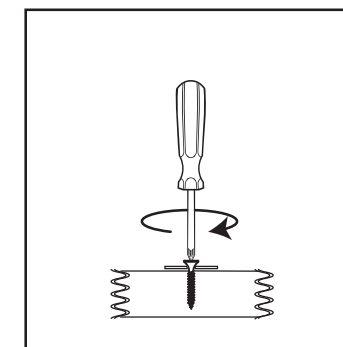


⑮脚  
× 6

タッピングネジの取り付け方

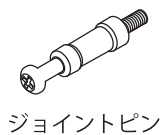


取り付け位置に合わせて部材を設置します。(※ガイド穴がある場合は、ガイド穴に合わせてください。)タッピングネジが垂直になるように、ドライバーでしっかり押し込むように締めてください。

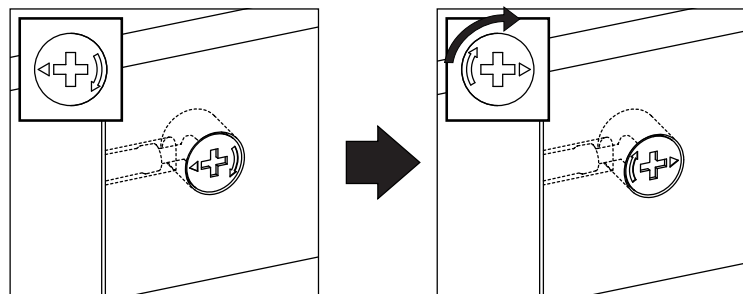
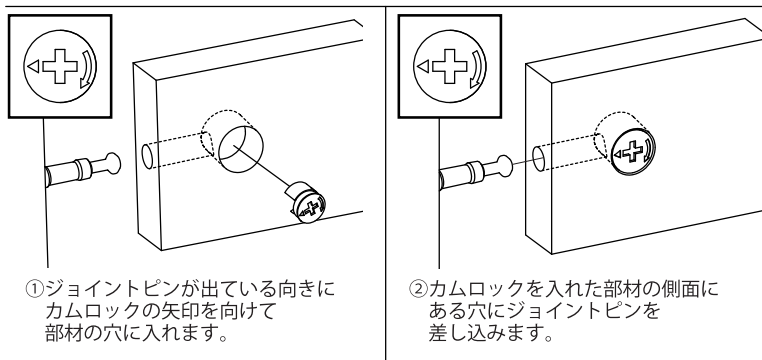


半分程度締めると強く押し込まなくてもタッピングネジが入っていきます。また、最初から奥まで締めず、仮止めをしながら、少しずつ締めてください。

## カムロックの締め方



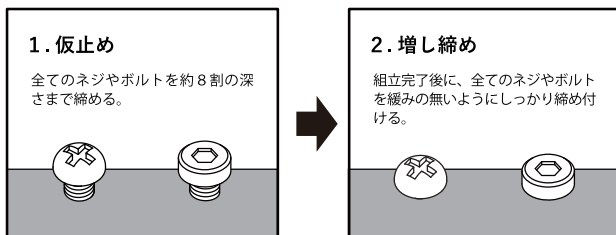
※電動ドライバーを使用しないでください。カムロックが破損する恐れがあります。



## ネジやボルトの締め方

本品はネジやボルトを使用して組立を行います。次の手順をご確認の上、組立を開始してください。

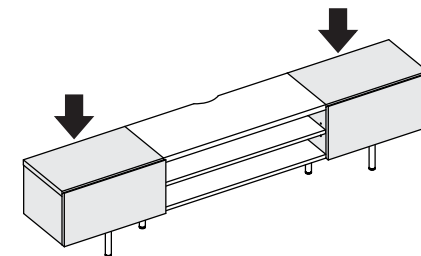
※仮止めを行わずに組立を行うとネジ穴の位置が合わず、組立が出来ない原因となりますのでご注意ください。



## 収納の組み立て

◎左右の収納を組み立てます。

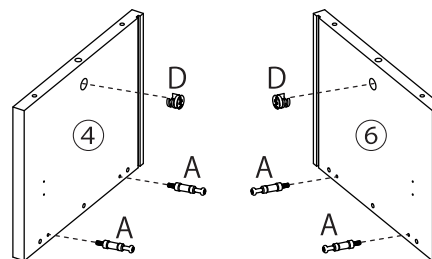
※組立の際は、商品・床などへの傷つきを防止するため、敷物などの上で作業をすることをおすすめします。



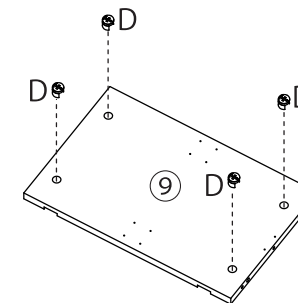
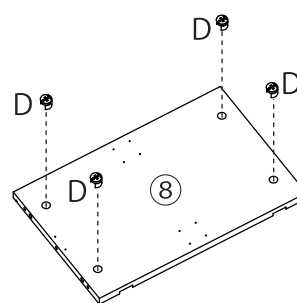
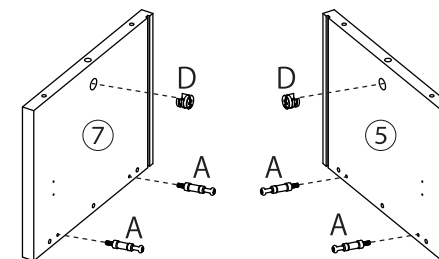
No.	使用パーツ	数
A		8
D		12

⑤、⑦、⑨(左は④、⑥、⑧) にA: ジョイントピン (大) とD: カムロックを入れます。

### 収納 左



### 収納 右



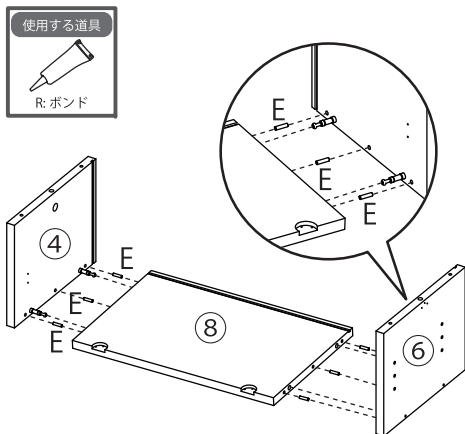
## 収納の組み立て

2

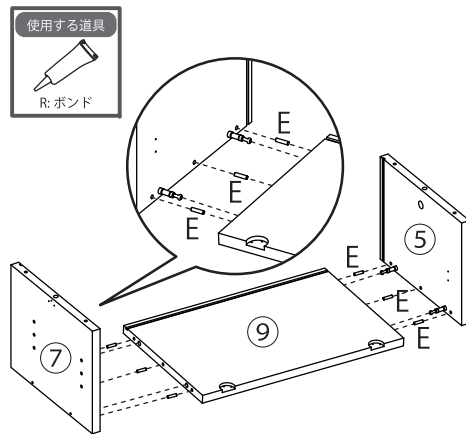
No.	使用パーツ	数
E		12

木ダボの穴に R: ボンドを入れてから E: 木ダボ (短) を取り付け、⑤、⑦、⑨ (左は④、⑥、⑧) を連結します。その後、ジョイントピンをカムロックに入れて締め、固定します。

収納 左

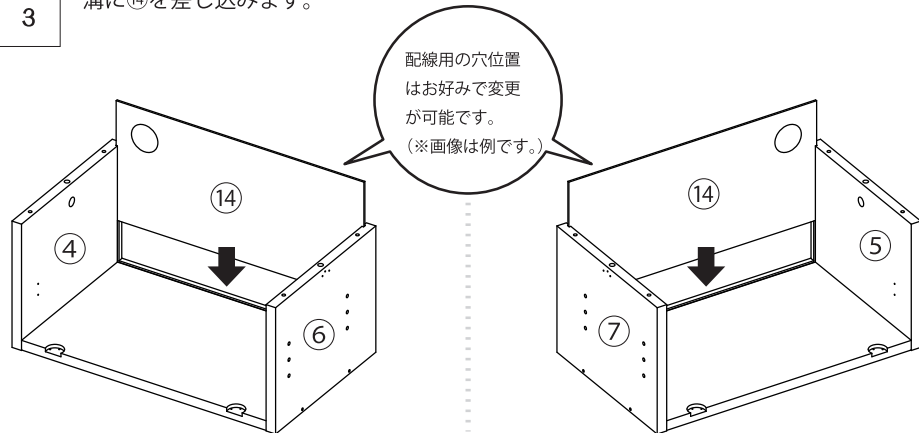


収納 右



3

溝に⑭を差し込みます。

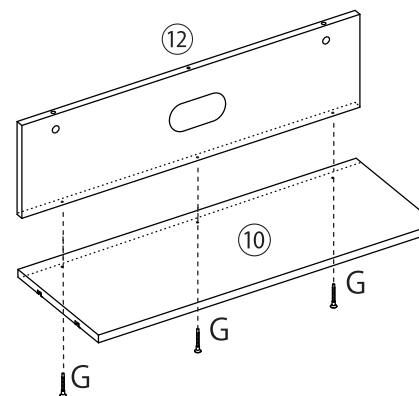


## 本体の組み立て

1

No.	使用パーツ	数
G		3

⑫を⑩の取付穴に合わせ設置し、G: 半ボルトで底面側から締めて⑫を固定します。

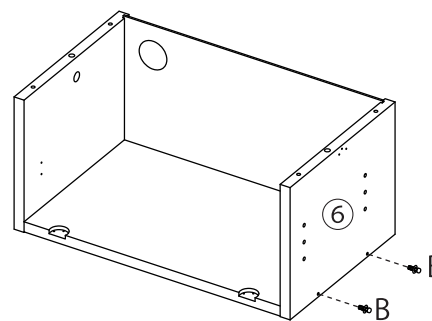


2

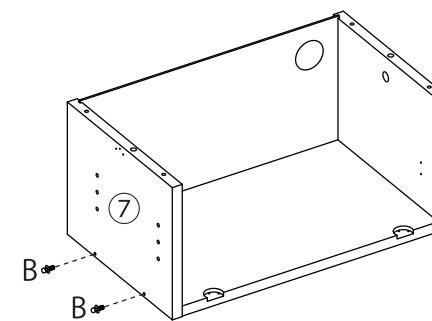
No.	使用パーツ	数
B		4

収納左右の⑥と⑦に B: ジョイントピン (小) を図のとおり取り付けます。

収納 左

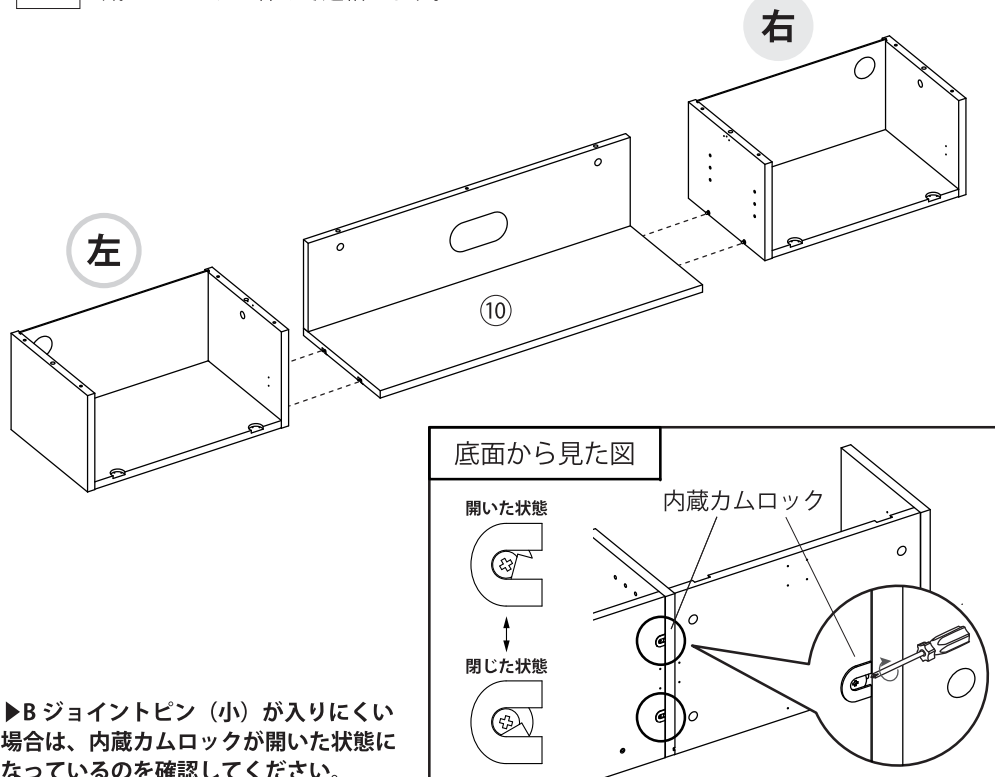


収納 右



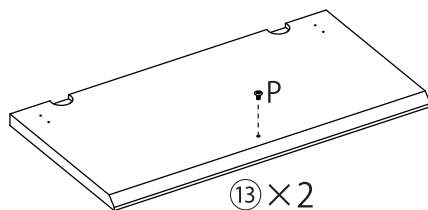
## 本体の組み立て

3 左右の収納に取り付けた B: ジョイントピン (小) を⑩の横の溝に差し込み、底面から内蔵カムロックを締めて連結します。



4 図のように、⑬に P: ネジ (ブラップ扉用) をしっかり押し込みながら取り付けます。

※2 セット組み立てます。

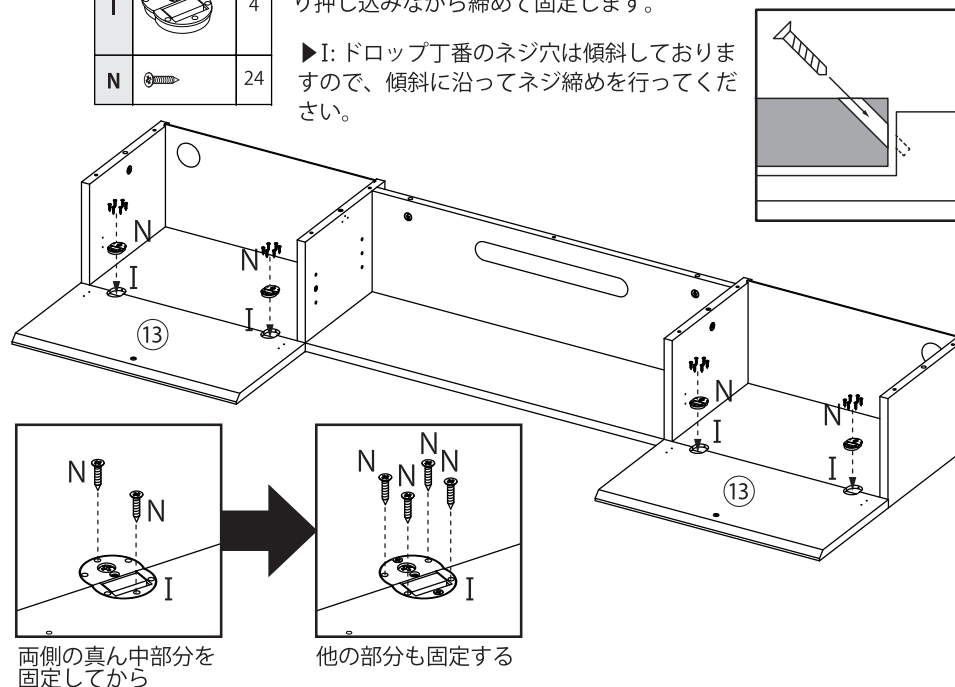


## 本体の組み立て

5 ⑬と本体両側のくぼみ同士がずれないように合わせ、I: ドロップ丁番をくぼみに対して水平に入れ、N: タッピングネジ (細) でしっかり押し込みながら締めて固定します。

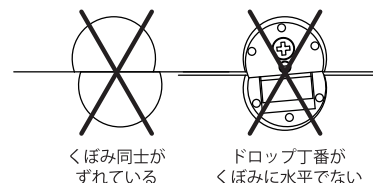
No.	使用パーツ	数
I		4
N		24

▶I: ドロップ丁番のネジ穴は傾斜しておりますので、傾斜に沿ってネジ締めを行ってください。



### ドロップ丁番について

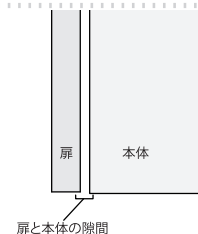
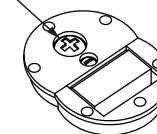
❗ ドロップ丁番はくぼみに対して水平に設置してください。



❗ 扉がずれたり、動きが悪くなったと感じた場合

ドロップ丁番の「本体固定ネジ」を緩めることで、「扉と本体の隙間」を1mm程度調節できます。(※回しすぎるとネジが外れますので、ご注意ください。)

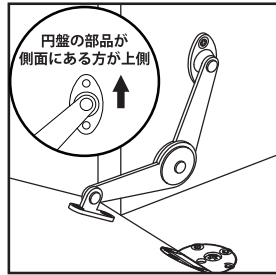
本体固定ネジ



## 本体の組み立て

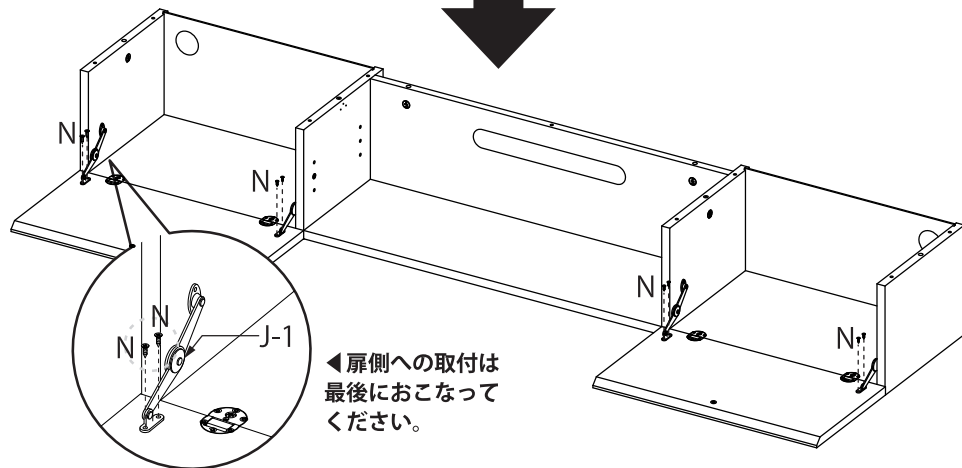
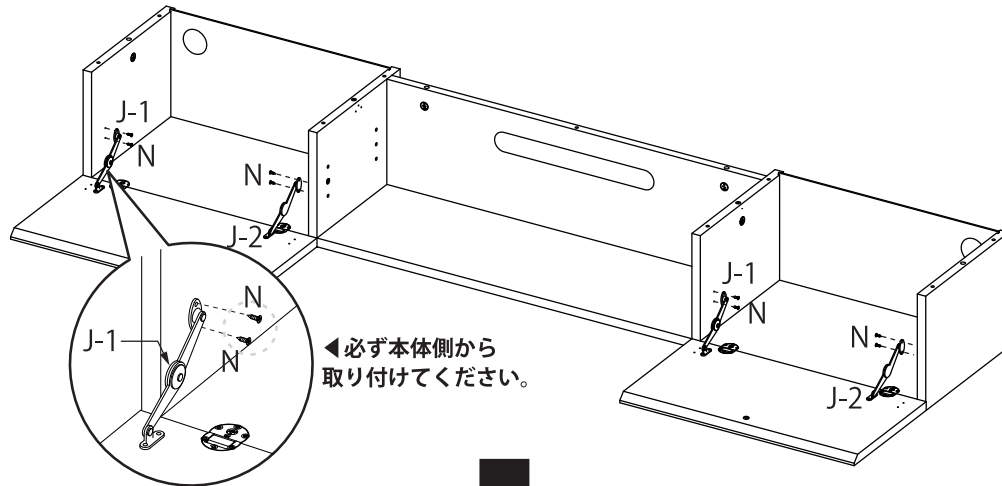
6

No.	使用パーツ	数
J-1	左	2
J-2	右	2
N		16



J: ダウンステー左右を取付穴に合わせ、N: タッピングネジ(細)をしっかりと押し込みながら、締めて固定します。

◀ダウンステーは図のとおり谷折りに動作します。逆向きに取付をおこなわないよう十分注意してください。

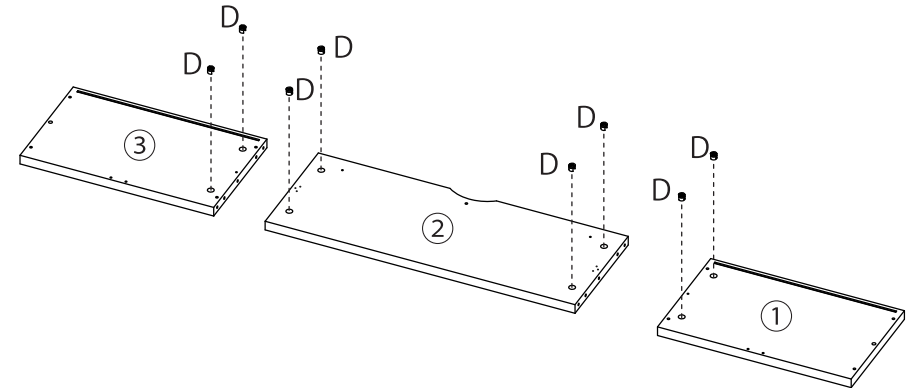


## 本体の組み立て

7

No.	使用パーツ	数
D		8

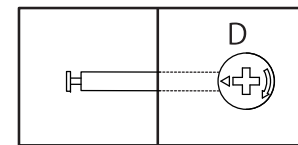
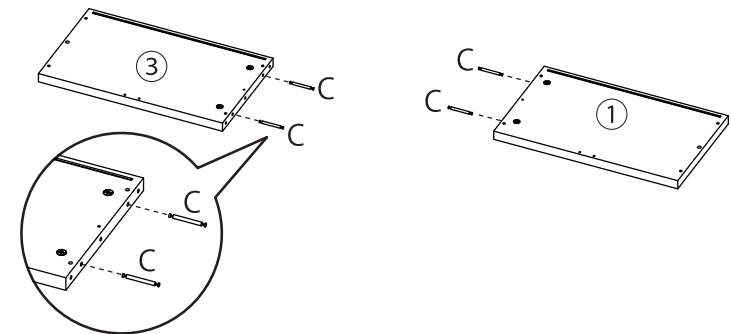
①、②、③に図のとおりD: カムロックを入れます。



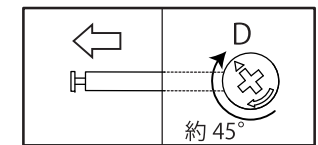
8

No.	使用パーツ	数
C		4

①、③に図のとおりC: ジョイントシャフトを入れて、先ほど入れたカムロックをしっかり締めます。



※ジョイントシャフトを差し込む際は、カムロックの向きに注意してください。



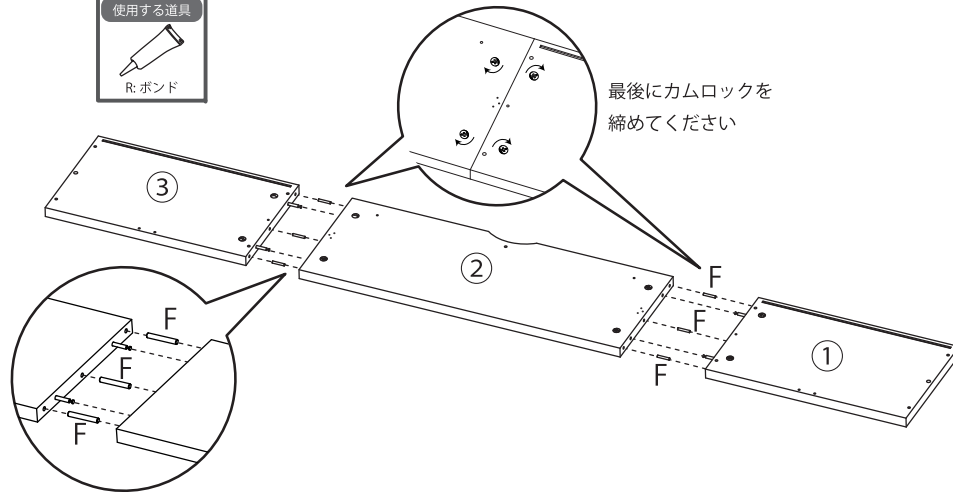
※仮止め後、⇐の向きにジョイントシャフトが抜けないことを確認してください。

## 本体の組み立て

9

No.	使用パーツ	数
F		6

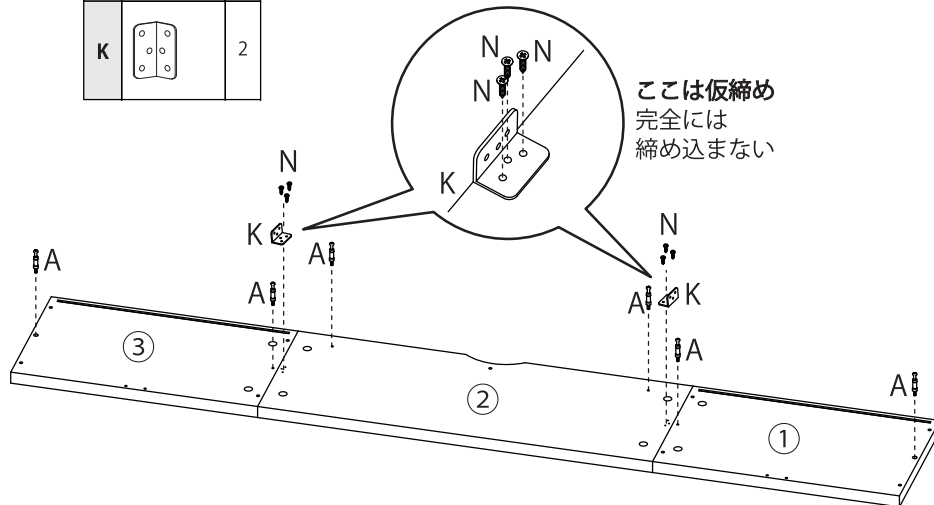
木ダボの穴に R: ボンドを入れてから、F: 木ダボ (長) を取り付けます。C: ジョイントシャフトを②に差し込み、カムロックを締めてください。



10

No.	使用パーツ	数
A		6
N		6
K		2

A: ジョイントピン (大) と K: 金具 (L) を取り付けます。  
K: 金具 (L) は図のとおり取付穴を合わせて N: タッピングネジ (細) をプラスドライバーでしっかり押し込みながら**仮締め**します。

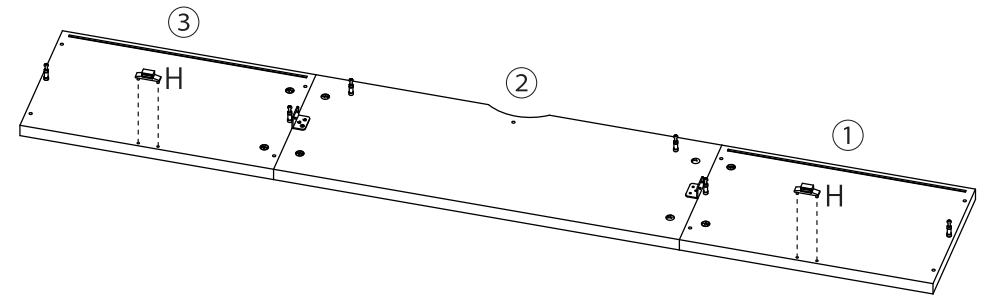


## 本体の組み立て

11

No.	使用パーツ	数
H		2

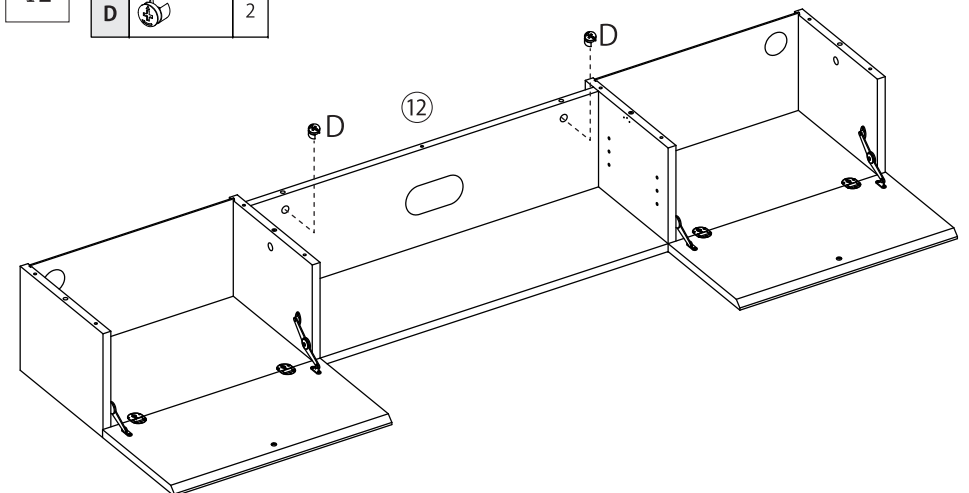
H: マグネットキャッチの取付穴に R: ボンドを入れてから、H: マグネットキャッチを差し込みます。



12

No.	使用パーツ	数
D		2

⑫に D: カムロックを図のとおり取付穴に入れます。





## 本体の組み立て

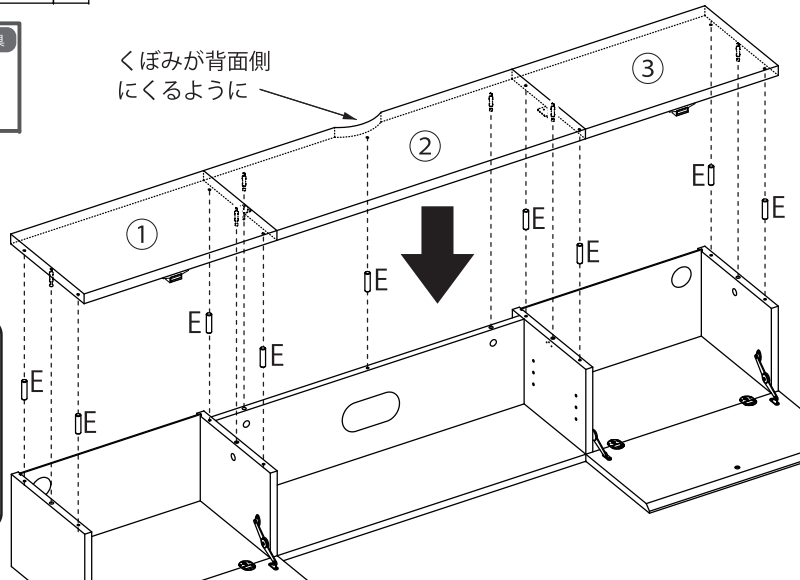
13

No.	使用パーツ	数
E		9

本体の木ダボの穴に R: ボンドを入れてから、天板を E: 木ダボ (短) で連結し、カムロックを締めて固定します。



くぼみが背面側  
にくるように

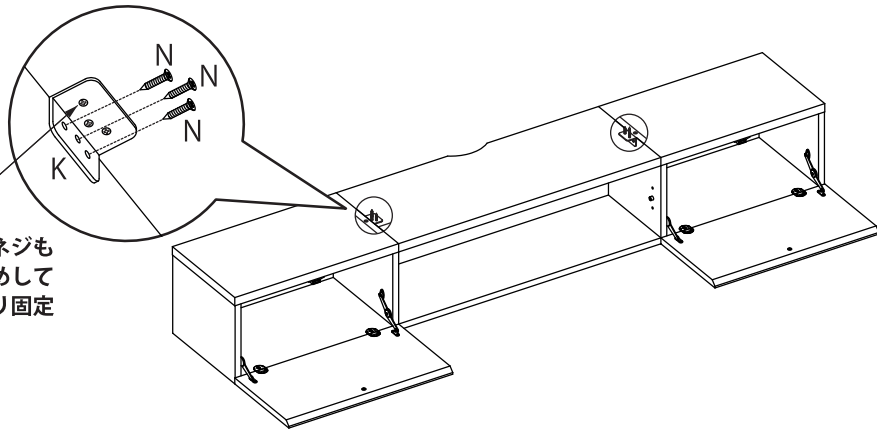


天板を取り付ける時は、接続部をしっかりと支えて持ちながら取り付けてください。

14

No.	使用パーツ	数
N		6

K: 金具 (L) と本体の中央内側の取付穴を合わせて N: タッピングネジ (細) をプラスドライバーでしっかり押し込みながら締めて固定します。  
※9で仮締めした N: タッピングネジ (細) もしっかり固定します。



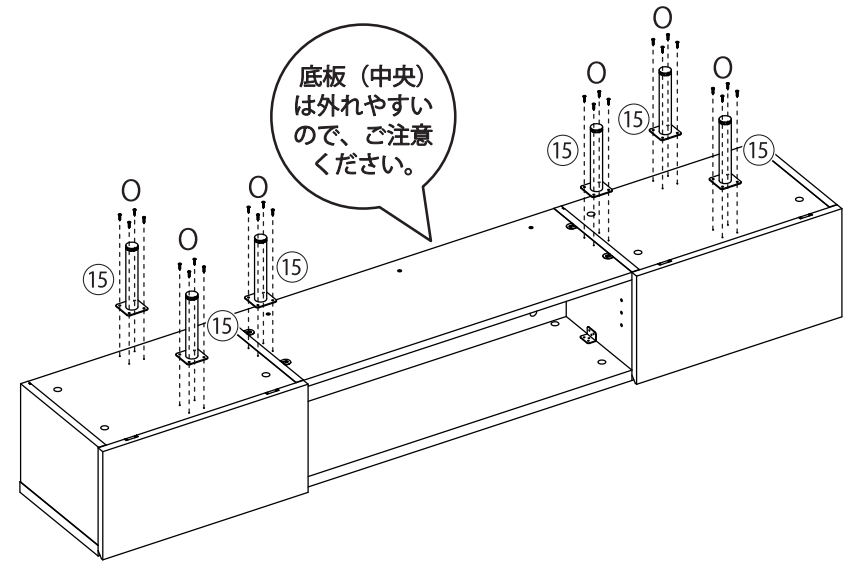
このネジも  
増し締めして  
しっかり固定

## 本体の組み立て

15

No.	使用パーツ	数
O		24

組み立てた本体を裏返して、O: タッピングネジ (太) をプラスドライバーでしっかり押し込みながら締めて⑮脚を固定します。  
この工程で計 24 カ所のネジ止めをおこないます。



底板 (中央)  
は外れやすい  
ので、ご注意  
ください。



※商品の向きを変える際、扉が開くことがありますので、扉で指を挟んだりして怪我をしたり、破損をしないように十分ご注意ください。

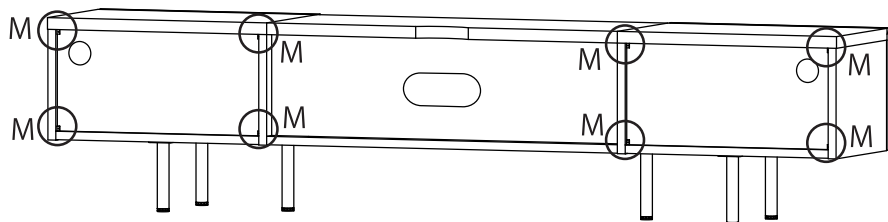
※本品を移動する際は、脚を支点にしたり、一部に荷重がかからないようにご注意ください。引きずらないように2人以上で、必ず手で支えながら持ち上げてください。また、破損や床の傷つき、怪我などの原因となります。

## 本体の組み立て

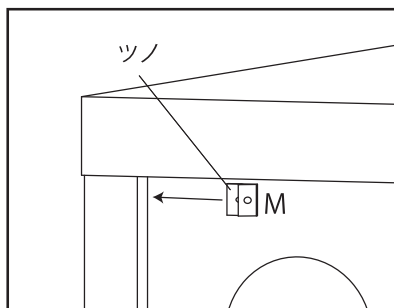
16

No.	使用パーツ	数
M		8
N		8

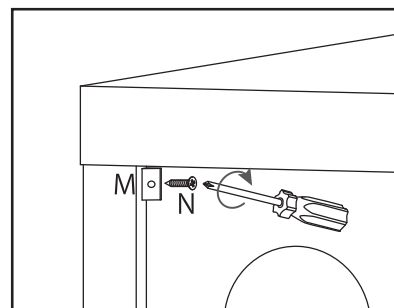
背板を固定するために本体裏側に M: 揺れ防止具を取り付けます。図のように、○部分の背板の隙間に M: 揺れ防止具を差し込み、N: タッピングネジ（細）をしっかりと押し込みながら締めて固定します。この工程で計 8 カ所のネジ止めを行います。



### 揺れ防止具の取り付け方



《1》揺れ防止具を背板表面に沿って背板取付け部の溝に、ツノ部分ができるだけ見えなくなるまで差し込みます。溝が狭くて差し込みにくい場合はドライバの先などを使って押し込んでください。



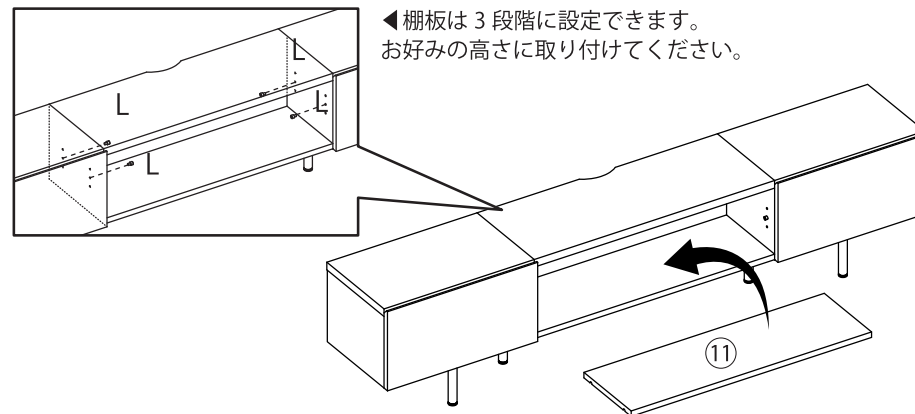
《2》揺れ防止具が軽く止まるくらいまでネジを締め付けます。背板が差し込まれた溝に対して、少し斜め方向にネジをしっかりと締めてください。※ネジを締めすぎると取付け部の穴が広がり、固定できなくなる恐れがあるのでご注意ください。

## 本体の組み立て

17

No.	使用パーツ	数
L		4

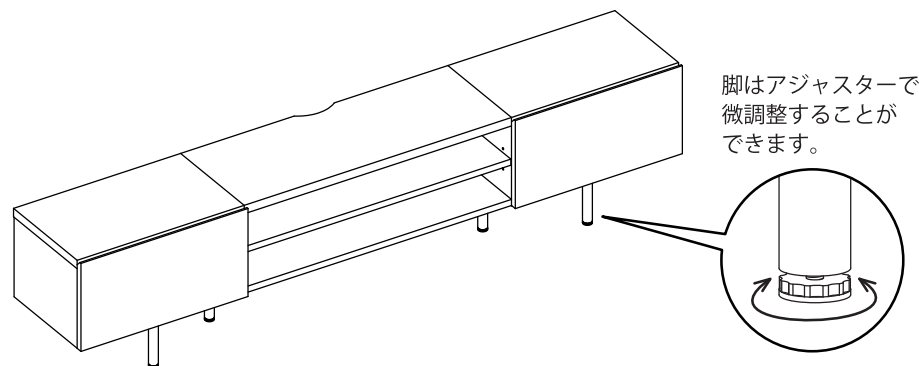
本体中央のオープンラック部分にある取付穴に L: 棚ダボを差し込み、①棚板を L: 棚ダボの上から載せてください。



◀棚板は 3 段階に設定できます。お好みの高さに取り付けてください。

完成

以上で完成です。取扱上の注意を守り、正しくお使いください。



脚はアジャスターで微調整することができます。



※本品を移動する際は、脚を支点にしたり、一部に荷重がかからないようにご注意ください。引きずらないように 2 人以上で、必ず手で支えながら持ち上げてください。また、破損や床の傷つき、怪我などの原因となります。